

建設 興業タイムズ

(1) 第3,789号 2009年(平成21年)5月2日(土曜日)

ローコスト マンション

市内シエア 10%目指す

出雲土建(出雲市知井宮町、石飛裕司社長)は、民間建築事業について、ローコスト賃貸マンション「炭の家」(2LDK)に特化し、本格攻勢を仕掛ける。20

年後、市内賃貸戸数のシェア10%達成が目標で、1~2年後には松江進出も狙う。炭の家は、主婦らの口

出雲土建

ミ等でもすでにブランドを確立。施工面では、上部階から重量床衝撃音を低減する効果が數値的に証明さ

炭八はNETIS登録

れたことで、コンクリート対策・維持管理・安心経営へのアドバイスなどアフター(駐車場2台・共益費込み)のフォローを追求。不況によると他社の同型アパートより安く設定。過去4年間の延べ総建築費の大削減が可能となつた。ベ入居率は98・8%と実績

る。

営業面は、立地・ターゲットを、世帯数が増加してお

り、戸建てと比べアパート比率が高い地域および土地・資産価値が高く、用途地域指定の個所に着目。市内で

などで、全ての賃貸物件を

調査するエリアマーケティ

ングで2LDKの需要が大

きいと判断した。

家賃は、2LDK6万2

千円で、

年には、ローコストマンシ

ョンシステムを市内で初めて

導入した。現在、同市内の

賃貸戸数に占めるシェアは

約3%。

なお、炭八

はこのほど、

新技術活用シ

ステムNETISに登録。

防音効果の裏付けを契機に、

全国へ向け積極的な営業展

開を図る。